

2024 年12 月24 日

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

事務機業界が連携 JBMIA の「共同配送」プロジェクトが 「物流パートナーシップ優良事業者表彰」を受賞

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（会長：沖津雅浩、以下「JBMIA」）に参加する複数の会員企業が連携して推進する「共同配送」プロジェクト^{*1}が、経済産業省および国土交通省主催の令和 6 年度物流パートナーシップ優良事業者表彰において、「物流 DX・標準化表彰」（経済産業省）を受賞しました。表彰式は本年 12 月 23 日に砂防会館別館にて行われました。



本プロジェクトは個社の枠を超えた業界内の連携により、物流分野の課題に取り組み、環境負荷の低減と持続可能な社会の実現を目指しています。今回の受賞は、プロジェクトの意義と成果が高く評価された結果です。

物流業界が抱える課題解決への挑戦

本プロジェクトは、事務機業界における複数の会員企業の協力を通じて、物流業界で長年の課題である「ドライバー不足」や「低積載配送」、「月末集中による波動問題」などに対応し、「競争」から「共創」への転換を実現しました。令和5年4月から令和6年3月までの北海道エリアにおける実績では、以下の成果が確認されています。

- CO₂排出量削減：年間 62.5 トン（16.4%削減）^{*2}
- 車両台数削減：年間 938 台（19.8%削減）
- 積載率向上：4.8%向上

これらの成果により、環境負荷の低減と物流効率の向上が実現し、SDGs（持続可能な開発目標）達成につながる成果を挙げています。

全国展開と未来への期待

令和 6 年には北海道、北陸および東北エリアにおける展開が完了し、令和 7 年には九州、甲信越、中国・四国エリアへの展開を予定しております。本プロジェクトに参加する会員企業は、共同配送を通じて物流の安定性とコスト削減を実現するとともに、労働環境の改善にも貢献しています。

持続可能な社会への貢献

この取り組みは、経済産業省や国土交通省の「フィジカルインターネットの実現に向けた取り組み」^{*3}と連携しており、業界の垣根を越えた新しい物流モデルとして注目を集めています。

今回の表彰は、本プロジェクトの成果が広く認められ、さらなる普及と発展への期待が込められたものといえます。事務機業界の挑戦が、物流業界全体の革新を牽引することを目指しています。

*1：物流に対する事務機業界各社が抱える問題、物流業界が抱える問題について、業界として解決するため、物流を「競争」から「共創」領域と捉え、共同配送というソリューションで社会課題を解消することを目指すプロジェクト

*2：改正省エネ法のトンキロ法を用いた簡易計算で算出

CO₂ 排出量 = 輸送重量 × 輸送距離 × トラックのトンキロ当たりの燃料使用量 × CO₂ 排出係数

*3：「フィジカルインターネットの実現に向けた取り組み」の詳細については経済産業省のサイト参照

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/physical_internet/pdf/2024_001_02_00.pdf